

つくば・TX版
沿線版

つくば 介護と仕事両立考える

市が講座、11人受講

誰もが直面する介護と仕事との両立を考えるワーク・ライフ・バランス講座介護離職、その前に「介護をしながら仕事を続けるための知恵と戦略」が20日、つくば市役所で開かれ、市民11人が参加した。

講師は、ワークライフバランスコンサルタントの奈良間英樹さん(44)。同市男女共同参画室(根本信行室長)

が主催した。

講座は「カイゴを知る」「介護離職の要因について考える」「介護と仕事の両立 継続のポイント」の3本柱で進化した。「カイゴを知る」では介護保険制度のあらましや主な在宅サービスを説明。

「介護離職の要因について考える」では、介護に充てる時間や休みがとれない、介護を必

要とする親の重症化と距離、そして子どもの役割を全うしたい思いから離職に至ると奈良間さんは話した。

介護離職しないための対策として仕事の時間を管理して効率を上げること、介護サービスの活用を挙げた。

「両立継続のポイント」は職場や医療、福祉サービス提供者などとのコミュニケーションが

不可欠と強調した。

講座では、参加者がグループに分かれて意見を出し合った。「自分対し、「子どもにも負担

分が要介護者になったら自宅と施設のどちらがいいか」のテーマに

対し、「子どもにも負担



介護離職に関するテーマについて意見を出し合う参加者たち。立っているのは講師の奈良間英樹さん＝つくば市役所

非行少年の考え知って

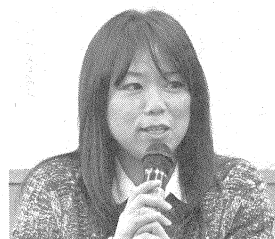
つくば 元暴走族総長が講演

少年非行で悩む保護者が集まる「つくば子どもと教育相談センター」が20日、つくば市花室のギャラリ「つくばアートセンター」(篠原光子代表)で開かれた。子どもたちがスイスや日本のアーティストと共に身の回りにあるもので楽器を作り、演奏やダンスを遊んだ。

分が要介護者になったら自宅と施設のどちらがいいか」のテーマに

対し、「子どもにも負担

分が要介護者になったら自宅と施設のどちらがいいか」のテーマに



元暴走族総長が講演

日、つくば市並木の並木交流センターで開いた。保護者ら22人が参加した。

中村さんは、自身の非行体験を語った上で「レディース(少女暴走族)の時に、(他のメンバーの)親が迎えに来るのを見て『うらやましい』と思った。『お母さんは私のこと



くば市花室のつくばアート

ダンス

自作楽器子ども楽しむ

日欧のアーティストと手作り楽器で表現活動を楽しむイベント「サウンド・アート・ムーブメント」が20日、つくば市花室のギャラリ「つくばアートセンター」(篠原光子代表)で開かれた。子どもたちがスイスや日本のアーティストと共に身の回りにあるもので楽器を作り、演奏やダンスを遊んだ。

動 静

国會議員

23日

【衆議院】丹羽雄哉氏(自民)

▽総務会▽社会福祉推進

議員連盟▽子どもの貧困

対策推進議員連盟

葉梨康弘氏(自民)

▽行革推進本部役員会▽

法務委員会理事會・委員

会▽たばこ議連總會▽農

林水産戦略調査会・農林